

阿蘇市の教育が

電子黒板で変わる！



WebTV アソ
動画

ことし9月、小・中学校に80台導入

電子黒板を使った授業に取り組む子どもたち
(宮地小学校 4年生理科の授業にて)



市は、子どもたちの更なる
学力向上を図るため、こ
とし9月、全小・中学校の学級
に80台の電子黒板を導入しまし
た。

電子黒板とは、パソコン上の
画像やイラスト、図形を映し出
し、画面上で文字を書き込んだ
り、縮小拡大などを直接画面に
触れて操作できる電子機器のこ
とです。全国的にも導入が進ん
でいますが、県内の市の中でも
2学級に1台と、充実した整備
をしている自治体は少なく、先
進的な取り組みといえます。

今回導入したのは、60インチ
(横140^{センチ}、縦86^{センチ})の電
子黒板と映像を映し出す教材提
示装置(以下「カメラ」)、パソ
コンがセットになったもので、
各教室のほか理科室や音楽室な
どの特別教室、特別支援学級に
それぞれ設置。また、国語・算
数・数学・理科、社会などの科
目のデジタル教科書が同時に導
入されています。

電子黒板が導入されて授業は
どう変わるのか? 11月11日、宮



- ①笑顔で実験に取り組む子どもたち。
- ②電子黒板下に備え付けられているカメラ。静止画と動画が撮影でき、ときには教科書を映し出して閲覧できるようにするなど、さまざまな活用ができる。
- ③古澤先生が実験内容を電子黒板で映し出すようす。子どもたちも映し出されたディスプレイを凝視し、集中して授業を受けていた。




宮地小 4年
みはね
佐田 美羽音さん

大きく映るから、
後ろの人でも良く見えるからいい！

授業で教科書を読むときは、
画面にも大きく表示されるんだ！



宮地小 4年
たいち
佐藤 太一くん



電子黒板を使つてカメラを利用したりすることで、子どもたちがとても興味深く授業を受けるようになりました。授業で撮影した写真やタブレットの映像などをすぐに映し出すことができるので、理科の場合は特に役立っています。

テストのときも電子黒板を使つて復習をしているので、成績も上がるのではないかと期待しています。

電子黒板には便利な機能があるので、いかに使いこなしていくかがこれからの課題です。私たちがしっかりと使いこなせるようになれば、もっと効果的な授業ができると思います。

宮地小学校教諭
古澤 幸 (みゆき) 先生

地小学校を訪れ、古澤幸先生による電子黒板を使った授業風景を取材しました。4年生の理科の授業「水の温度で体積がどう変わるか」で、児童が各班に分かれて実験。水が入ったフラスコを氷水と熱湯の容器にそれぞれ入れて、体積の変化の違いを確認しました。

ここで役に立ったのが電子黒板です。古澤先生が備え付けのカメラを使い、電子黒板上に実験のようすを映し出すと、子どもたちは電子黒板の画面を凝視し、実験結果の確認が容易にできていたようでした。子どもたちも電子黒板が導入されたことで、意欲的に勉強に励んでいるようすがうかがえました。

使い方しだいでは、さまざまな用途に活用できる電子黒板。指導する側の先生方も子どもたちに分かりやすく教えることができるよう研修などに取り組まれています。来年度も各学校の導入されていない学級に設置を予定しており、阿蘇市のよりよい教育環境整備につながるものと期待されます。

新しい学び舎、工事始まる

一の宮中校区統合小学校建設安全祈願祭



北側上空から校舎を望む

工 事 概 要

- 校舎 鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積：6092.23平方メートル(約1,842坪)
工事費：15億8,436万円
施工者：光進建設(株) (熊本市東区)
- 体育館 鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2階建て
延床面積：1971.05平方メートル(約596坪)
工事費：4億8,600万円
施工者：(株)三津野建設 (熊本市東区)

一の宮中校区統合小学校校舎及び体育館新築工事の安全祈願祭が11月10日、建設予定地である一の宮中学校グラウンドで行われ、施工業者や地元関係者など約70人が出席、工事期間中の安全を祈願しました。

同小学校は宮地、坂梨、古城小と、昨年度、宮地小に先行統合した中通小の4校が統合するもので、平成28年4月の開校を目指しています。また、小中連携教育を目指して、現中学校グラウンドに小学校校舎を建設することから、現在、中学校のグラウンドを移転する工事も行われており、本年度中に完成する予定です。



鉄入の儀を行う建設関係業者ら

終戦から69年、追悼捧ぐ

阿蘇市戦没者追悼式



献花を捧げる参列者

阿蘇市戦没者追悼式が10月23日、阿蘇体育館で営まれ、阿蘇市遺族会連合会(山部征三会長)をはじめ関係者など約200人が参列、戦没者への追悼の誠を捧げました。

式では、遺族を代表して山部征三さんが追悼の言葉を述べ、吟詠のあと参列者が献花を行いました。また、阿蘇市の児童を代表して加藤優衣さん(内牧小6年)が「平和な世の中が未来の世界に広がってほしい」と、平和を願いました。

阿蘇の景観守る功労者などに表彰 阿蘇くじゅう国立公園 80周年記念式典



阿蘇くじゅう国立公園指定から80年を迎え11月6日、阿蘇火山博物館で記念式典が開催されました。別府・湯布院・阿蘇の20市町村にまたがる同公園は昭和9年12月4日に、日本で最初に指定された雲仙や霧島地域に続き誕生。7万2678平方メートルの面積を有し、火山や草原景観が楽しめる九州の主要な観光地域として多くの観光客に



環境省九州地方環境事務所長から功労者表彰を受けた受賞者の皆さん

親しまれている国立公園です。式典では実行委員会会長と、草原景観の維持管理などに功績があったとして、牧野組合や野焼き支援ボランティア団体などに環境省九州地方環境事務所長から表彰状が贈られました。また、阿蘇ジオパーク推進協議会主催による阿蘇カルデラ国際シンポジウムも開かれました。

ごみを減らす標語・絵画児童作品コンクール

●入賞者一覧 (敬称略)

【標語の部】	
市長賞	大塚 可純 (古城小4年)
議長賞	國瀧 慧 (内牧小4年)
教育長賞	中山 亮弥 (内牧小6年)
優秀賞	岩下 吹憂 (坂梨小4年)
	阿部 月香 (山田小6年)
	西本 壮太郎 (阿蘇西小5年)
	佐藤 大輝 (尾ヶ石東部小6年)
古庄 留萌 (波野小6年)	
【絵画の部】	
市長賞	竹原 夕二郎 (阿蘇小6年)
議長賞	岩下 翔人 (古城小6年)
教育長賞	森本 麻奈加 (山田小6年)
優秀賞	志賀 一富生 (波野小5年)
	小池 夢空 (古城小5年)
	三村 きらり (古城小5年)
	村上 祐衣 (阿蘇小6年)
宇野 光 (阿蘇小6年)	

「ごみを減らす標語・絵画児童作品コンクール」の表彰式が11月8日、阿蘇体育館で行われ、市長、議長、教育長から入賞された皆さんに賞状と副賞が贈られました。

このコンクールは、子どもの頃からゴミ問題や環境への関心を深め、正しい認識を持ち成長してもらおうと市が実施しているもので、今回で8回目。対象となる小学4～6年生から、標語部門に359点、絵画部門に79点の応募がありました。

入賞作品は、12月末まで市役所本庁市民課カウンタ―に掲示しています。

標語の部 (市長賞)

リサイクル
きれいな町への
第一歩

大塚 可純さんの作品

絵画の部 (市長賞)



竹原 夕二郎さんの作品